

# 何

おん カ  
なに・なん

2年

7画 一 一 一 一 一 一 一

なりたち 可トイの会意形声

字で、「よろしい人」という意味の字。立派な人を見れば「なにを」どんな「にしたらそうなるかを考えることから、「なに・どんな」という意味に使う。荷の本字で、人が「にもつ」を「になう」形をしているので、「にもつ」になう意味にも使う。



いみじゆくこ  
▼なに。どんな。  
何事：①どんなこと。用何事  
事が待ち受けているか、わからない。②特別な(悪い)こと。用何事もなく、無事に旅を終えた。  
何者：だれ。何人。用何あれは何者だろう。

何物：どんな物。用何物も時の流れに逆らうことはできない。  
幾何：数学の分野。図形・立体・空間などの性質を研究する学問。

よみかた 何様・何分・何回・何点・何度・何人・何年・何百・何本

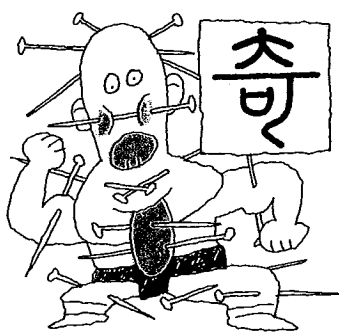
# 奇

おん キ

8画 一 一 一 一 一 一 一 一

なりたち 大ト可の会意形声

字。「大いに可なり(よろしい)」という意味の字。「すぐれている・珍しい」こと。また、「不思議・怪しい」の意味に使われる。また、「二つとない」という意味で「ひとつ・奇数」という使い方があがる。



いみじゆくこ  
▼すぐれている。珍しい。奇才：世にまれなすぐれた才能。また、そういう才能を持った人。  
奇知：人が考えもしないようなすぐれた知恵。  
奇貨：①珍しい品物。②思いがけない利益が得られる品物や機会。  
▼不思議。怪しい。変わっている。  
奇怪：不思議で怪しいこと。奇人：性質や行動が変わっている人。変わり者。  
奇病：原因のわからない病気。  
▼二で割り切れない数。  
奇数：二で割れない整数。

よみかた 奇禍・奇遇・奇襲・奇術・奇声・奇想天外・奇抜・奇妙・数奇

さんこう 特別なよみかた↓  
数奇屋

# 荷

おん カ  
に

3年

10画 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

なりたち 何ト艸(草)との形

声字で、何という名の植物である「はず」を表した字。また、人が「にもつ」を「になう」意味の「何」が主に「なに」の意味で使われるため、かわりにこの字が「になう」の意味に使われるようになった。



いみじゆくこ

▼にもつ。  
重荷：①重い荷物。②重い責任や負担。  
出荷：荷物を市場に出すこと。  
荷主：荷物を送り出した人。  
荷物の持ち主。

荷主：荷物を送り出した人。  
荷物の持ち主。

▼になう。  
荷担：①荷をになうこと。②味方になって力を貸すこと。「加担」も書く。用陰謀に荷担する。

負荷：①になうこと。かつぐこと。②機械を動かして実際にさせる仕事の量。

荷役：船の荷物をかついで、上げ下ろしをする役。また、その役目の人。

▼にもつを数える言葉。例一

よみかた 荷重・荷車・荷札・荷物・集荷・初荷・船荷

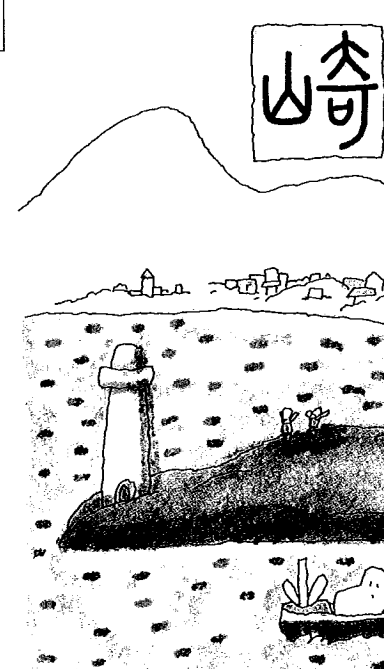
# 崎

おん ざき

11画 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

なりたち 奇ト山の会意形声

字。「奇なる山」という意味の字。近づきたい、けわしい山のこと。わが国では、海に突き出た「みさき」の意味に用いられ、「さき」と読まれている。



いみじゆくこ

▼みさき。海に突き出た山や丘。例観音崎・石廊崎(いさな)

# 奇

# 何荷